

医療における社会・行動科学

責任者・コーディネーター	口腔医学講座予防歯科学分野 相澤 文恵 助教		
担当講座・学科(分野)	口腔医学講座予防歯科学分野		
担当教員	相澤 文恵 助教		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

現代における重大な健康問題である慢性疾患の発生メカニズムは、特定の細菌や化学物資など単一のものでは説明がつけにくい。慢性疾患が「生活習慣病」や「環境病」といわれるように、その発生メカニズムは、健康にとって問題となる望ましくない生活や労働の諸条件、習慣、行動、さらには環境などが媒介的あるいは直接的に作用している。人間の行動が疾患を作りだすのならば、人間が健康のためにより行動（保健行動）を選択し、それを実行するために必要な要因を探る科学が必要となる。それが行動科学である。

本講義では、人間が健康の保持・増進・回復を目的として行う保健行動に関わる社会的要因、文化的要因、心理的要因について概説する。また、現在、医療の現場で用いられている「人間が自らの意志で行動変容できるように促す」ための行動科学の理論とモデルを紹介する。行動科学モデルを種々の場面で応用するための基礎を修得することを期待する。

・一般目標（GIO）

健康に関わる行動を社会、文化との関わりで理解し、学習した行動科学理論を医療人として患者と対応する際に応用するための基礎を修得する。

・到達目標（SBO）

- 1.社会、文化、心理的要因により健康観が異なることを理解する。
- 2.個人が保健行動を実行するための一般的条件を列挙できる。
- 3.主要な保健行動に関する行動科学モデルを説明できる。
- 4.行動科学モデルを、個人、集団、医療など、種々の場面に適用できる。

・ 講義日程

【（矢）東 2-C 講義室】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	水	1	予防歯科学分野	相澤 文恵 助教	健康とは 医療における行動科学の役割
4/23	水	1	予防歯科学分野	相澤 文恵 助教	健康と行動の関連
4/30	水	1	予防歯科学分野	相澤 文恵 助教	健康教育
5/7	水	1	予防歯科学分野	相澤 文恵 助教	保健行動
5/14	水	1	予防歯科学分野	相澤 文恵 助教	保健行動に関わる社会的要因
5/21	水	1	予防歯科学分野	相澤 文恵 助教	保健行動に関わる心理的要因
5/28	水	1	予防歯科学分野	相澤 文恵 助教	行動科学の理論とモデル(1)
6/4	水	1	予防歯科学分野	相澤 文恵 助教	行動科学の理論とモデル(2)
6/11	水	1	予防歯科学分野	相澤 文恵 助教	行動科学の理論とモデル(3)
6/18	水	1	予防歯科学分野	相澤 文恵 助教	総合的協同型健康づくり
6/25	水	1	予防歯科学分野	相澤 文恵 助教	エンパワーメント教育
7/2	水	1	予防歯科学分野	相澤 文恵 助教	ライフスキル教育
7/9	水	1	予防歯科学分野	相澤 文恵 助教	メディカルインタビューの基礎
7/16	水	1	予防歯科学分野	相澤 文恵 助教	まとめ

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	行動科学－健康づくりのための理論と応用 改訂第2版	端 栄一、土井由利子編集	南江堂	2009
参	健康行動と健康教育 理論, 研究, 実践	Karen Glanz, 他 編集	医学書院	2010

・成績評価方法

定期試験（80％）と提出物（20％）で評価する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC	1	講義資料の提示
講義	書面カメラ・DVD プレーヤセット	1	講義資料の提示